

北八・天狗岳山行報告

【山行日】2016年1月 9日(土)～10日(日)

【集 合】 岩舟支所P AM 3:00

【費 用】 マイカー1台 : 17,000円

【メンバー】CL:鈴木 石川、香川、松館、
渡辺

1月9日(土) 晴れ 渋の湯登山口から中山峠経由、東天狗岳・西天狗岳ピストンし黒百合ヒュッテに宿泊

岩舟支所 P3:00=渋の湯登山口 P6:10/6:50～
黒百合ヒュッテ 9:15/9:50～東天狗岳

11:20/11:30～西天狗 11:50/12:05～天狗岳鞍部 12:15/12:35～黒百合ヒュッテ 13:25

今年の雪山メイン山行として、北八・天狗岳から高見石の周回コースを計画した。



に上流に向かって進み、渋御殿湯の前を通り越すと間もなく橋がある。橋のたもとにある登山届箱に登山計画書を入れて橋を渡り、高見石への道を左にやり過ごし、樹林帯をジグザグに登って行く。4日前はシラビソや



10年ぶりに歩くコースなので事前に下見山行をし、コースの状況や駐車場の様子を確認し臨んだ。今年は暖冬で雪が少なく、歩き易いが雪山の迫力がいまいちと感じたが、本番ではまずまずの雪景色が見られ満足できた。登山口の渋の湯駐車場に6時過ぎに着き、ホテルで受付を済ませ駐車場所に案内された。準備をしてトイレを済ませ出発する。渋川沿い



コマツガの樹に雪がまったく無かったが、今日は真白く雪化粧していた。緩やかになると、八方台からのコースと合流し、さらに原生林の中を進むと唐沢鉱泉からの道と合わさる。さらにシラビソの森を登ると平坦になり、森を抜けると黒百合平に着く。黒百合ヒュッテがたたずんでおり、中に入って大休止とする。ホットココアやコーヒーなど、



各自好きなものをいただきのんびり過ごす。今日は連休初日で混雑すると言うので、宿泊の受付を済ませておく。ヒュッテの前でアイゼンを付け、防寒を万全にして中山峠に向かう。中山峠はヒュッテから南東に少し行った森の中の十字路だ。ガスっていた空が晴れ、青空が見えるようになったが、風が強く空気が冷たい。中山峠から右に進み、森を抜けて急登すると天狗岳が頭を出し始める。シラカバの霧氷が朝日に輝きとても美しい。森林限界を超えた

岩場に出ると、シラカバやダケカンバの霧氷と雪を纏ったシラビソの原生林が一望のもと広がりとても素晴らしい景観だ。

稜線を歩くようになり左側は断崖で、稲子岳南壁を見ながら注意して進む。途中風が強くなり、岩陰でバラクラバや目出帽をかぶり顔を保護する。天狗ノ鼻の岩峰を西側から巻き、雪稜に出ると東天狗岳頂上は目前だ。東天狗岳頂上からは、北八ヶ岳の森とは違った硫黄岳や赤岳の絶景が広がる。根石岳への稜線も真っ白で美しい。風が強いので、記念写真を撮り急いで西天狗岳へ向かう。



西天狗岳への鞍部まで下ると、風は弱くなりとても暖かい。休憩をとり、絶景を眺めながらリングをいただく。鞍部から一登りで西天狗岳頂上に着く。

頂上は広く、風も弱いのでゆっくり大展望を楽しめる。



赤岳や阿弥陀岳の南八ヶ岳はもちろん、南アルプスから中央アルプス、北側には蓼科山や浅間山等、360度の大パノラマを存分に楽しんだ。鞍部まで戻り、ランチタイムとする。お湯を沸かし、カップ麺やスープにパンなどで空いた腹を満たす。絶景を見ながらのランチに、皆とても満足そう。

昼食が済んだら来た道に戻り、黒百合ヒュッテへ向かう。途中、登って来るパーティとの交差で待たされるが、風も弱まり寒さを感じない。最後の岩場で眺望を楽しみ、シラビソ

の樹林帯を抜けると中山峠に着き、左に下るとヒュッテに着く。受付が済んでいるので、すぐに2階の個室に案内される。部屋で荷物を整理し、少し休んでから下の食堂で反省会が始まる。

ビールで乾杯し、ワインや焼酎、日本酒など飲みながら、雪の天狗岳に登れた喜びで話は尽きないが、夕食の準備の為お開きになる。5時30分から夕食を食べ、明日に備えて早めに就寝した。

1月10日(日) 晴れ 黒百合ヒュッテから中山&高見石小屋経由し渋の湯へ下山

黒百合ヒュッテ 7:30～中山 8:10～高見石小屋 9:00/9:30～渋の湯登山口 P11:00/11:15＝

スズランの湯 11:50/13:00＝岩舟支所 P15:40

6時に朝食を食べ、ゆっくり準備をして7時30分ジャストに出発する。



昨日と同じようにガスっていたが、出発する頃から薄日が差し青空が見えるようになってきた。

中山峠に向かい、峠から昨日とは反対に左に曲がり中山に向かって登って行く。樹林帯の尾根を進み、ニューへの分岐を過ぎると急登になる。中山の山頂は樹林の中で眺望は無く、山頂の標識の前で記念写真を撮る。少し先に行くと前方が開け、中山展望台に着く。ガスが掛かり北アルプスの眺望は得られなかったが、時折ガスが晴れシラビソの原

生林を見渡すことが出来た。指導票に従い高見石に向かって降りて行く。少し先で再び樹林帯に入り、シラビソの森を下って行くと高見石小屋に着いた。

小屋の右脇を通り高見石に登るが、アイゼンを付けて大きな岩を登るのは難しい。

高見石の上に立つと北側が開け、蓼科山や茶臼山が望め森に囲まれた白駒池が俯瞰できる。

高見石小屋へ降りて休憩し、リンゴやアンパンを食べエネルギーを補給する。ここから道

標に従って渋の湯へ向かって下るが、案内板に「ゆるやかに下る道」と書いてあるので安心したが違っていた。少し緩やかな道を下ると、その先は賽の河原の急降下が始まる。岩がゴロゴロした間



に雪があり、雪を拾いながら岩の間を進む。

地蔵仏まで下ると岩が少なくなり、沢沿いに降りて行く。

シラビソの樹林帯に入り、岩交じりの歩きにくい道を沢沿いに進み、いくつか小さな橋を渡る。

黒百合平への道を左に分けると傾斜がゆるくなり、再び黒百合平からの道に合わさると登山口の橋に出る。橋を渡った平らな場所でアイゼンを外す。これから登るパーティに「黒百合平までアイゼンは付けた方が良いですか？」と聞かれ

「登りは付けなくて大丈夫です、我々も付けなくて登りました。」と答えたが、後ろを見るとアイゼン



を付けていた。無事車まで戻り、靴を履きかえ荷物を整理して温泉に向かって出発する。帰りは雪が無いのでビーナスラインを經由して帰るため、白樺湖畔の「スズランの湯」へ向かった。ネットで割引券をゲットし、100円引きで入ることが出来た。温泉で汗を流し、施設にある食事処で昼食を食べることにする。広間から白樺湖越しに車山が見えるが、驚いたことに雪が無く枯草の褐色の山肌である。笑っちゃうくらい超大盛りのカツカレーやソースカツ丼を食べ、温泉を後にする。

道路にも全く雪が無く、快調に走ることが出来る。佐久南ICから高速道に入り、上信越道の横川SAに寄り、お土産を買って岩舟支所に予定より早く帰着出来た。

二日間天気に恵まれ、雪山登山のセカンドステップを無事終了することが出来た。

